

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月4日

上場取引所 東大

上場会社名 日本水産株式会社

コード番号 1332 URL <http://www.nissui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員

(氏名) 垣添 直也

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長

(氏名) 佐藤 高輝

TEL 03-3244-7181

四半期報告書提出予定日 平成21年8月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	120,945	△6.4	1,469	136.3	1,326	68.8	648	—
21年3月期第1四半期	129,158	—	621	—	786	—	△334	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.35	—
21年3月期第1四半期	△1.21	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	384,744	76,134	15.5	216.37
21年3月期	385,462	72,165	14.5	201.64

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 59,785百万円 21年3月期 55,718百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	250,000	△3.5	6,000	139.7	5,000	348.4	2,000	—	7.24
連結累計期間	510,000	0.9	12,000	280.2	10,000	—	5,000	—	18.10

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご参照ください

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 277,210,277株 21年3月期 277,210,277株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 895,547株 21年3月期 891,340株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 276,316,660株 21年3月期第1四半期 276,465,793株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はさまざまな要素により異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は5ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご参照ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機に端を発した深刻な景気後退の影響を受け、企業業績の悪化による雇用・所得等の先行きに対する不安が高まるなか、個人消費の低迷が続く厳しい状況で推移しました。

世界経済につきましては、アジアでは中国を中心に景気は持ち直しの兆しがあるものの、米国や欧州では金融危機と実体経済悪化の悪循環により深刻な状況が続きました。

当社および当社グループ業界におきまして、わが国では、水産物は景気後退の影響を受け販売数量の減少や販売価格の下落があり、食品事業においては商品の低価格化が強まり、米国や欧州でも個人消費の低迷が続くなど、引き続き厳しい状況にありました。

このような状況下で当第1四半期連結会計期間の営業成績は、売上高は1,209億45百万円（前年同期比82億13百万円減）、営業利益は14億69百万円（前年同期比8億47百万円増）、経常利益は13億26百万円（前年同期比5億40百万円増）、第1四半期純利益は6億48百万円（前年同期比9億82百万円増）となりました。

## 事業セグメント別営業概況

## ①水産事業

日本において、共和水産株式会社（注1）が連結子会社となりましたものの、消費低迷による、すりみ、かに、鮭鱒、助子（注2）などの販売数量の減少や価格下落があり、たな卸資産の評価損も発生し、北米においてもすりみやフィレーなどの生産数量の減少や販売価格の下落があったことに加え、南米において漁撈会社（注3）の漁獲量の減少などがありましたので、売上高は422億12百万円（前年同期比93億86百万円減）となり、営業損失は11億51百万円（前年同期比11億79百万円減）となりました。

## ②食品事業

日本において、冷凍食品や常温食品ならびに魚肉ソーセージ・練り製品が売り上げを伸ばすとともに、原材料の価格下落が進み、北米の家庭用冷凍食品も売り上げを伸ばしましたので、売上高は671億23百万円（前年同期比9億20百万円増）となり、営業利益は14億5百万円（前年同期比16億10百万円増）となりました。

## ③物流事業

冷蔵倉庫事業において、荷動きは低迷しましたが効率的な事業運営に努めましたので、売上高は28億90百万円（前年同期比2億12百万円増）となり、営業利益は4億64百万円（前年同期比27百万円増）となりました。

## ④ファイン事業

医薬事業および健康食品その他が堅調に推移しましたので、売上高は58億5百万円（前年同期比5億14百万円増）となり、営業利益は13億37百万円（前年同期比2億84百万円増）となりました。

## 所在地別セグメントの営業概況

## ①日本

水産事業では、消費低迷によるすりみ、かに、鮭鱒、助子などの販売数量の減少や価格の下落に加え、たな卸資産の評価損も発生しましたが、食品事業では、冷凍食品やびん詰などの常温食品ならびに魚肉ソーセージ・練り製品が売り上げを伸ばすとともに、原材料の価格下落が進みましたので、売上高は959億16百万円（前年同期比37億31百万円減）となり、営業利益は25億5百万円（前年同期比1億56百万円減）となりました。

## ②北米

水産および食品事業を営んでおり、食品事業において家庭用冷凍食品が売り上げを伸ばしましたが、水産事業においてすりみやフィレーの生産数量の減少や販売価格の下落がありましたので、売上高は181億8百万円（前年同期比18億6百万円減）となり、営業損失は4億78百万円（前年同期比8億27百万円減）となりました。

## ③南米

アルゼンチン、チリにおいて漁撈および養殖事業を営んでおり、漁撈会社において漁獲量の減少などがありましたが、チリのサルモネス・アンタルティカ社（注4）において経営改善に努めましたので、売上高は18億74百万円（前年同期比4億96百万円減）となり、営業利益は4億97百万円（前年同期比18億28百万円増）となりました。

## ④アジア

水産および食品事業を営んでおり、水産事業では、シンガポールの水産物販売会社やインドネシアのえび養殖事業において、販売数量の減少や価格の下落があり、食品事業では、中国の山東山孚日水有限公司(注5)において生産数量の増加がありましたので、売上高は10億66百万円(前年同期比7億29百万円減)となり、営業損失は2億31百万円(前年同期比1億83百万円損失減)となりました。

## ⑤ヨーロッパ

水産および食品事業を営んでおり、水産事業、食品事業ともに消費低迷により販売数量が減少しましたので、売上高は39億80百万円(前年同期比14億48百万円減)となり、営業損失は64百万円(前年同期比2億6百万円減)となりました。

(注1) 平成20年10月に漁撈会社である共和水産株式会社の株式を取得し、同社は連結子会社となりました。

(注2) すけとうだらの卵。

(注3) 【アルゼンチン】 ペスパサ社 (EXPLORACION PESQUERA DE LA PATAGONIA, S.A. (PESPASA))、ペスアンタル社 (EMPRESA PESQUERA DE LA PATAGONIA Y ANTARTIDA, S.A. (PESANTAR))

【チリ】 ペスケーラ フリオスール社 (PESQUERA FRIOSUR S.A.)、ペスケーラ スール アウストラル社 (PESQUERA SUR AUSTRAL S.A.)、エムデペス社 (EMPRESA DE DESARROLLO PESQUERO DE CHILE S.A. (EMDEPES))、ドーサ社 (DESARROLLO OCEANICO S.A. (DOSA))

(注4) チリ サンチャゴ市に本社を置く鮭養殖会社。

(注5) 中国山東省青島市に本社を置く水産・食品会社。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## 資産、負債及び純資産の状況

## 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.8%減少し、1,814億94百万円となりました。これは現金及び預金が135億39百万円減少し、受取手形及び売掛金が18億59百万円、仕掛品が22億83百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて4.3%増加し、2,032億49百万円となりました。これは有形固定資産が23億18百万円、投資その他の資産が56億22百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて0.2%減少し、3,847億44百万円となりました。

## 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて0.4%増加し、1,876億44百万円となりました。これは短期借入金が14億89百万円増加し、支払手形及び買掛金が18億53百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて4.4%減少し、1,209億65百万円となりました。これは長期借入金が65億27百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.5%減少し、3,086億9百万円となりました。

## 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて39億68百万円増加し、761億34百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が18億55百万円、為替換算調整勘定が29億44百万円増加したことなどによります。

## キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益11億31百万円、減価償却費40億52百万円、仕入債務の減少28億94百万円などの結果、11百万円の支出となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは食品工場への増力化投資などの有形固定資産の取得による支出22億94百万円などにより、28億78百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは短期借入金の減少7億17百万円、長期借入金の返済による支出67億71百万円などにより、103億50百万円の支出となりました。以上の結果、現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末比125億22百万円減少し、183億70百万円となりました。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社および当社グループにおきましては、当第1四半期における業績は当初計画の進捗率には及びませんが、今後一層の営業活動の強化およびコストダウンの徹底により、収益の拡大に努めてまいります。従いまして、現時点においては平成21年5月15日に公表いたしました平成22年3月期の業績予想を変更しておりません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法  
によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,059	25,599
受取手形及び売掛金	60,374	58,515
商品及び製品	51,277	49,458
仕掛品	10,209	7,925
原材料及び貯蔵品	19,651	21,517
その他	28,624	28,202
貸倒引当金	△703	△654
流動資産合計	181,494	190,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	50,826	50,253
その他(純額)	59,578	57,833
有形固定資産合計	110,405	108,086
無形固定資産		
のれん	4,745	4,829
その他	11,488	10,995
無形固定資産合計	16,234	15,824
投資その他の資産		
投資有価証券	64,302	58,565
その他	19,132	18,968
貸倒引当金	△6,824	△6,545
投資その他の資産合計	76,610	70,988
固定資産合計	203,249	194,899
資産合計	384,744	385,462

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,345	27,199
短期借入金	130,846	129,357
未払法人税等	1,170	2,201
未払費用	19,529	19,297
引当金	943	2,240
その他	9,808	6,507
流動負債合計	187,644	186,805
固定負債		
長期借入金	94,941	101,469
退職給付引当金	16,756	16,268
その他の引当金	443	572
その他	8,824	8,181
固定負債合計	120,965	126,491
負債合計	308,609	313,296
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,729	23,729
資本剰余金	13,758	13,758
利益剰余金	31,284	32,018
自己株式	△250	△249
株主資本合計	68,522	69,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,382	△473
繰延ヘッジ損益	△80	△234
為替換算調整勘定	△7,966	△10,911
在外子会社の年金債務調整額	△2,071	△1,920
評価・換算差額等合計	△8,737	△13,539
少数株主持分	16,349	16,447
純資産合計	76,134	72,165
負債純資産合計	384,744	385,462

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	129,158	120,945
売上原価	102,602	94,154
売上総利益	26,556	26,790
販売費及び一般管理費	25,934	25,321
営業利益	621	1,469
営業外収益		
受取利息	118	125
受取配当金	271	201
為替差益	619	347
持分法による投資利益	134	—
雑収入	188	253
営業外収益合計	1,334	927
営業外費用		
支払利息	1,091	973
持分法による投資損失	—	14
雑支出	77	81
営業外費用合計	1,169	1,069
経常利益	786	1,326
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	269	7
貸倒引当金戻入額	56	—
特別利益合計	331	8
特別損失		
固定資産処分損	91	60
投資有価証券評価損	—	142
関係会社株式売却損	6	—
たな卸資産評価損	222	—
持分変動損失	402	—
特別損失合計	723	203
税金等調整前四半期純利益	394	1,131
法人税、住民税及び事業税	533	382
法人税等調整額	372	△71
法人税等合計	905	310
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△177	173
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△334	648



## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	394	1,131
減価償却費	3,500	4,052
のれん償却額	526	347
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	46	321
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△563	20
受取利息及び受取配当金	△390	△326
支払利息	1,091	973
持分法による投資損益 (△は益)	△134	14
固定資産売却益	△4	0
固定資産処分損	91	60
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△269	135
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,618	△448
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,625	△136
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,446	△2,894
未払費用の増減額 (△は減少)	2,265	△335
その他	△4,804	△1,922
小計	△7,048	994
利息及び配当金の受取額	838	858
利息の支払額	△1,069	△791
法人税等の支払額	△1,334	△1,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	△8,613	△11
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△303	342
有価証券の増減額 (△は増加)	1,210	△262
有形固定資産の取得による支出	△7,124	△2,294
有形固定資産の売却による収入	696	26
無形固定資産の取得による支出	△810	△259
投資有価証券の取得による支出	△3,134	△4,423
投資有価証券の売却による収入	606	272
投資有価証券の償還による収入	—	3,000
短期貸付金の増減額 (△は増加)	△135	1,185
その他	△682	△464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,676	△2,878

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	20,926	△717
長期借入れによる収入	7,988	—
長期借入金の返済による支出	△4,458	△6,771
リース債務の返済による支出	△36	△215
配当金の支払額	△1,382	△1,382
少数株主への配当金の支払額	△91	△1,262
自己株式の増減額 (△は増加)	△2	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,945	△10,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	717
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,668	△12,522
現金及び現金同等物の期首残高	11,774	30,892
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△81	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,361	18,370

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

（単位：百万円）

	水産事業	食品事業	物流事業	ファイン 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	51,599	66,203	2,677	5,290	3,387	129,158	—	129,158
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,833	211	2,021	10	185	6,262	(6,262)	—
計	55,432	66,414	4,698	5,301	3,573	135,420	(6,262)	129,158
営業利益(△は営業損失)	27	△ 204	437	1,053	93	1,407	(785)	621

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

（単位：百万円）

	水産事業	食品事業	物流事業	ファイン 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	42,212	67,123	2,890	5,805	2,913	120,945	—	120,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,910	284	1,555	55	309	4,114	(4,114)	—
計	44,123	67,408	4,445	5,860	3,222	125,059	(4,114)	120,945
営業利益(△は営業損失)	△1,151	1,405	464	1,337	172	2,229	(759)	1,469

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品の名称

1. 事業区分の方法 連結グループ内部の管理区分によっております。
2. 各事業区分に属する主要な製品の名称等

水産事業	水産物（鮮凍品、油脂・ミール）の漁獲、養殖、買付、加工及び販売
食品事業	冷凍食品、常温食品、その他の加工品の製造及び販売
物流事業	冷蔵保管、凍結及び冷蔵貨物の運搬
ファイン事業	診断薬、一般医薬品、健康食品、医薬原料の製造及び販売
その他事業	船舶の建造・修繕、運航、エンジニアリング、その他

## 【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	99,647	19,915	2,370	1,795	5,429	129,158	—	129,158
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,172	1,621	2,307	1,535	13	6,649	(6,649)	—
計	100,819	21,537	4,677	3,331	5,442	135,808	(6,649)	129,158
営業利益(△は営業損失)	2,662	348	△ 1,330	△ 414	142	1,407	(785)	621

当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

(単位:百万円)

	日本	北米	南米	アジア	ヨーロッパ	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	95,916	18,108	1,874	1,066	3,980	120,945	—	120,945
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,143	909	2,172	1,852	8	6,086	(6,086)	—
計	97,059	19,017	4,046	2,919	3,989	127,031	(6,086)	120,945
営業利益(△は営業損失)	2,505	△478	497	△ 231	△64	2,229	(759)	1,469

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域

北米	米国、カナダ
南米	チリ、アルゼンチン
アジア	シンガポール、タイ、中国、インドネシア、ベトナム
ヨーロッパ	オランダ、フランス、スペイン

## 【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）（単位：百万円）

	北 米	そ の 他	計
I 海外売上高	17,690	13,487	31,178
II 連結売上高			129,158
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	13.7	10.4	24.1

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）（単位：百万円）

	北 米	そ の 他	計
I 海外売上高	17,532	9,419	26,952
II 連結売上高			120,945
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	14.5	7.8	22.3

(注)

1. 国又は地域の区分の方法 地理的近接度によっております。
2. 各区分に属する主な国又は地域

北 米	米国、カナダ
そ の 他	南米、ヨーロッパ、アジア

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。